らくらく!かんたん設定ガイド

11n/g/b対応 高速300Mbps 無線LAN USBアダプタ

GW-US300MiniS

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

Version: GW-US300MiniS_QIG-A_V5

はじめに

●パッケージに次の付属品が含まれていることを確認してください。

☑ らくらく!かんたん設定ガイド for Windows(本紙)
☐ らくらく!かんたん設定ガイド for Mac
☐ GW-US300MiniS(本製品) ☐ 安全に関する説明書 / 保証書
☐ CD-ROM ☐ USB 延長ケーブル

※パッケージ内容に破損または欠品があるときは、販売店または弊社までご連絡ください。

● 別途ご用意ください。

☐ 利用可能な CD/DVD ドライブと USB ポートがあるパソコン

困ったときは、付属の CD-ROM または弊社ホームページ(http://www.planex.co.jp)をご参照ください。

ご注意

ブロードバンドルータや無線アクセスポイントのセットアップが済んでいないときは先に済ませてください。

※無線 LAN 接続時には、必ず暗号化を設定してください。
暗号化を無効にすると、ネットワーク全体の安全性が損なわれる恐れがあります。
※作業をはじめる前に使用中のアプリケーション(ワープロソフトウェアやメールソフトウェアなど)はすべて終了してください。
※セキュリティソフトウェアをインストールしているときは、一時停止または一時的にアンインストールしていないと、正常にインストールできないときがあります。一時停止または一時的なアンインストールについては、セキュリティソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
※他の周辺機器は取り付けていない状態でのインストールをお勧めします。
※Windows 7/Vista をご利用のときは、「管理者」権限をもつユーザ名でログオンしてください。
※Windows XP をご利用のときは、「コンピュータの管理者」権限をもつユーザ名でログオンしてください。
※Internet Explorer 6 以上の環境を推奨します。
※WPS をお使いになるときは、通常版ドライバをインストールしてください。XLink Kai 版ドライバでは WPS はお使いいただけません。
※XLink Kai をお使いになるときは、XLink Kai 版ドライバをインストールしてください。通常版ドライバでは XLink Kai はお使いいただけません。
※WPS と XLink Kai を同時にお使いいただくことはできません。通常版ドライバをインストールしたあとに XLink Kai をお使いになるときや、XLink Kai 版ドライバをインストールしたあとに WPS をお使いになるときは、ドライバをアンインストールしたあとに、もう一度お使いになりたい機能にあったドライバをインストールしてください。
※Windows 7 環境では WPS、アクセスポイント、XLink Kai は動作しません。

らくらく!かんたん設定ガイドの記号

	クリック		キーボードを使用して入力します。
	ダブルクリック		確認します。
	右クリック		設定する順番

通常版ドライバをインストールする

WPS をお使いになるときは、通常版ドライバをインストールしてください。XLink Kai 版ドライバでは WPS をお使いいただけません。

ソフトウェアをインストールする

本製品を使用するには、付属の CD-ROM からソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。以下の手順にしたがってソフトウェアをインストールしてください。
※**Windows 7 をお使いのときは**、下記の「Windows 7 のとき」を参照してください。

まだ本製品をパソコンへ取り付けないでください。

パソコンのCD/DVDドライブに付属のCD-ROMを挿入します。

■Windows Vistaのとき
①「自動再生」画面が表示されますので、「AutoLoader.exeの実行」をクリックします。
②「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[許可]をクリックします。
▼
メニュー画面が表示されます。

■Windows XPのとき
▼
メニュー画面が表示されます。

メニュー画面が表示されないときは
①「コンピュータ」(Windows XP は「マイコンピュータ」)を開きます。
②付属の CD-ROM の入った CD/DVD ドライブを右クリックして「開く」を選びます。
③「AutoLoader.exe」をダブルクリックします。

[通常版ドライバのインストール]をクリックします。

▼
インストールがはじまります。
※この作業には数分かかることがあります。

これよりインストールを開始します。
無線LANアダプタをお手元に用意して
しばらくお待ちください。

▼
「お手元に用意した無線LANアダプタをパソコンのUSBポートに取り付けてください。」が表示されます。

3 本製品をパソコンのUSBポートへ挿し込みます。

▼
「無線LANアダプタの取り付けを確認しました。手を触れずに、しばらくお待ちください。」が表示されます。

無線LANアダプタの取り付けを確認しました。
手を触れずに、しばらくお待ちください。

▼
「インストールが完了しました。」が表示されます。

インストールが完了しました。

[終了]をクリックします。

5 CD-ROMをCD/DVDドライブから取り出します。

6 パソコンを再起動します。

■Windows 7のとき (Windows 7のインストール・取り付け方法はこちらを参照してください)
①パソコンの CD/DVD ドライブに付属の CD-ROM を挿入します。
②「自動再生」の画面が表示されますので、「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックします。
③「driver」フォルダをダブルクリックし、「SETUP.exe」をダブルクリックします。
④ユーザーアカウント制御」が表示されたら、[はい]をクリックします。
⑤インストール画面が表示されます。画面にしたがってインストールを行います。
⑥インストールが終了したら、CD-ROM を CD/DVD ドライブから取り出し、パソコンを再起動します。
⑦パソコンが完全に起動したことを確認し、本製品をパソコンの USB ポートへ挿し込みます。
⑧ドライバが自動的にインストールされ、正しくインストールされたことを確認します。

これでインストールは終わりです。続けて **へ進んでください。**

※本紙は、本製品をクライアントとして使うときの設定方法を記載しています。ポータブルゲーム機などでインターネットに接続したいときは、本製品をアクセスポイントとして使用します。「STEP 1 **ソフトウェアをインストールする**」を終えてから、付属 CD-ROM 内のユーザーズ・マニュアルの「**ユーティリティを使う**」-「**アクセスポイントとして使う**」を参照してください。
※アクセスポイントの機能は Windows 7 に対応しておりません。

STEP 1 が手順通りに完了できないときは、付属 CD-ROM 内のユーザーズ・マニュアルの「困ったときは」を参照してください。

無線LAN設定の準備をする

無線LAN設定するための準備をします。

WPS※1機能を使ってかんたんに無線LAN設定する

本製品では、WPS機能を使って無線LANの設定をお手軽に行うことができます。WPS機能を使って無線LANの設定を行うときは※2、「STEP 3 **無線LANを設定する**」の「**かんたん設定**」へ進んでください（このときSTEP 2は不要です）。

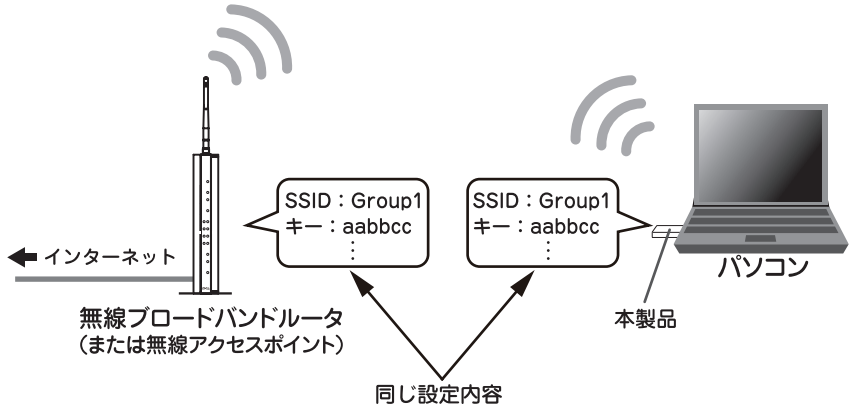
※1: WPS（Wi-Fi Protected Setup）とは無線LAN機器のセキュリティなどの設定を簡単に行うための標準規格です。
※2: WPS機能を使って設定するためには、無線ブロードバンドルータ（親機）もWPSに対応している必要があります（弊社製品MZK-WNH、MZK-MF150W/MF150Bなど）。
※3: Windows 7をお使いのときはWPS機能に対応していませんので、「STEP 3 無線LANを設定する」の「通常設定」へ進んでください。

無線LANの設定を行う前に、接続先の無線ブロードバンドルータ（または無線アクセスポイント）の設定内容を確かめて以下の表にご記入ください。
無線ブロードバンドルータ（または無線アクセスポイント）の設定内容を確かめる方法は、お使いの機器のマニュアルを参照してください。

	名称	無線ブロードバンドルータ（または無線アクセスポイント）の設定内容
(イ)	SSID（ネットワーク名）	
(ロ)	認証タイプ	□ オープン　□ 共有 □ WPA-PSK　□ WPA2-PSK
(ハ)	暗号化	□ TKIP　□ AES ※(ロ)が「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」のとき。
(ニ)	WEPキーまたはパスフレーズ	

※暗号化キーは、WEPのときは「WEPキー」、WPAのときは「パスフレーズ」を記入してください。
※無線LAN接続時には、必ず暗号化を設定してください。
　暗号化を無効にすると、ネットワーク全体の安全性が損なわれる恐れがあります。

●無線 LAN について

無線ブロードバンドルータ（または無線アクセスポイント）と同じ無線 LAN 設定を本製品に設定することにより、無線 LAN 通信することができます。

無線LANを設定する

無線LANの設定方法を説明します。
以下のいずれかの方法を選んで設定してください。

ユーティリティを使って自動で設定するとき

へ

※お手持ちの無線ブロードバンドルータが**WPS機能に対応しているとき**は、「かんたん設定」で設定できます。

弊社WPS対応無線ブロードバンドルータ（2009年12月現在）：
・MZK-WNH
・MZK-W300NH
・MZK-MF150W/MF150B

ユーティリティを使って手動で設定するとき

へ

※お手持ちの無線ブロードバンドルータが**WPS機能に対応していないとき**は、「通常設定」で設定します。

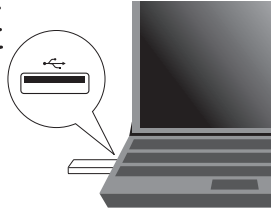
※Windows 7をお使いのときは、「通常設定」へ進んでください。

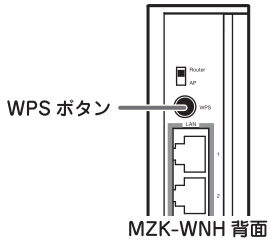
かんたん設定

ここでは、弊社のWPS対応無線ブロードバンドルータ「MZK-WNH」を使った設定方法を説明します。

■設定前の準備

MZK-WNHがインターネットに接続できることを確認してください。

パソコンの電源がオンになっていることを確認し、本製品をパソコンのUSBポートに取り付けます。

MZK-WNH本体背面のWPSボタンを4秒以上9秒以内押して離します。

※WPSボタンの位置と操作方法は、機器により異なります。詳細はお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

システムトレイのユーティリティアイコンをダブルクリックします。

※システムトレイにユーティリティアイコンが表示されていないときは、「スタート」→「すべてのプログラム(または、「プログラム」)」→「Planex Wireless」→「Planex Wireless Utility」をクリックすることでも起動できます。

▼

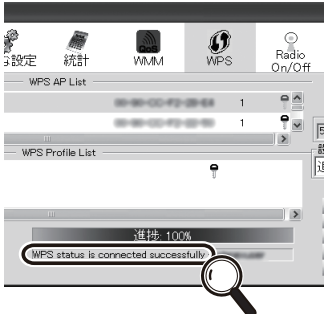
ユーティリティが起動します。

上部のメニューから「WPS」をクリックします。

［PBC］をクリックします。

▼

接続先の検索が始まります 。

「WPS status is connected successfully」と表示されていることを確認します。

「STEP 4 インターネットへ接続する」へ進んでください。

これで無線LANの設定は終わりです。

接続に失敗したときは再度試してください。それでもつながらないときは、以降の「**通常設定**」で設定してください。

通常設定

で作成した表を使って、以下の手順で設定します。

※開発中の画面を使用しているため、実際と異なる場合があります。

ご注意!
お使いの無線ブロードバンドルータ（または無線アクセスポイント）の設定内容に合わせて、設定してください。
接続先と設定内容が異なると無線LAN接続ができません。

システムトレイのユーティリティアイコンをダブルクリックします。

※システムトレイにユーティリティアイコンが表示されていないときは、「スタート」→「すべてのプログラム(または、「プログラム」)」→「Planex Wireless」→「Planex Wireless Utility」をクリックすることでも起動できます。

▼

ユーティリティが起動します。

上部のメニューから「プロファイル」をクリックし、[追加]をクリックします。

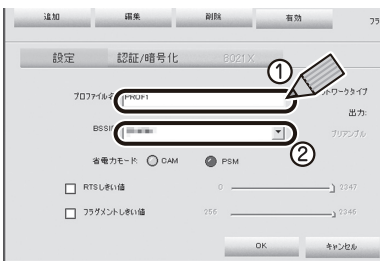
▼

ユーティリティ画面下部に設定項目が表示されます。

①「プロファイル名」欄に任意のプロファイル名を入力します。

※お客様が識別しやすい名前を入力してください。

②「BSSID」欄に表の(イ)の内容を入力、あるいはプルダウンリストから選びます。

※表の(イ)と同じ「SSID」が表示されないときは、接続先の無線アクセスポイントでSSIDが見えなくなる設定になっていないか確認してください。確認方法については、無線アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

「認証/暗号化」タブをクリックします。

▼

設定項目が表示されます。

セキュリティの設定をします。

表(ロ)の設定内容が「オープン」または「共有」のとき→「■WEPの設定」へ

表(ロ)の設定内容が「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」のとき→「■WPA-PSKの設定」へ

■WEPの設定

①「認証タイプ」で表(ロ)と同じ設定内容を選びます。

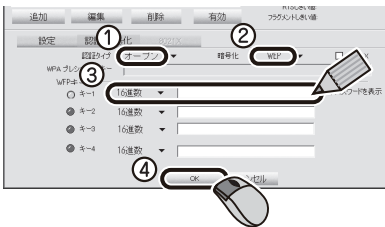
②「暗号化」で「WEP」を選びます。

③「WEP」キーを設定します。

表(ニ)が5文字または13文字のとき

「10進数」を選び、右横の空欄に表(ニ)の設定内容を半角で入力します。

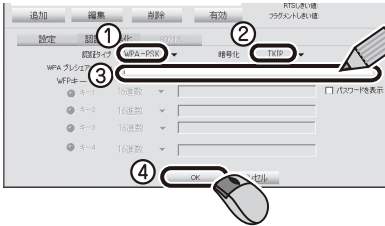
表(ニ)が10文字または26文字のとき

「16進数(Hexadecimal)」を選び、右横の空欄に表(ニ)の設定内容を半角で入力します。

④[OK]をクリックします。

■WPA-PSKの設定

①「認証タイプ」で表(ロ)と同じ設定内容を選びます。

②「暗号化タイプ」で表(ハ)と同じ設定内容を選びます。

③「WPAプレシェアードキー」に表(ニ)の設定内容を半角で入力します。

④[OK]をクリックします。

①「プロファイルリスト」から③で設定したプロファイル名をクリックします。

②[有効]をクリックします。

③「接続先」に、設定した BSSID と MAC アドレスが表示されていることを確認したら、接続完了です。

ユーティリティを閉じます。

これで無線LANの設定は終わりです。

ユーティリティの詳細については、付属CD-ROM内のユーザーズ・マニュアルを参照してください。

STEP 4 インターネットに接続する

WEBブラウザを起動します。

インターネットに接続されることを確かめてください。

これで本製品の設定は終了です。

●ホームページが表示されないときは

- 本製品がパソコンの USB ポートにしっかりと取り付けられているか確認してください。
- 通信する機器との間に障害物がないか確認してください。
  通信をする機器との間に壁や家具などの障害物があるときは、電波がさえぎられ通信速度が低下したり、接続できないときがあります。また、電子レンジ、テレビ、携帯電話機などの家電製品のそばでの使用も、電波が影響を受けてしまい通信の障害となることがあります。
- STEP 2 と STEP 3 を確認して、無線 LAN 通信の設定内容に間違いがないか確認してください。
- ソフトウェアが正しくインストールしているか確認してください。

●本製品をアクセスポイントとして使用したいときは

本紙は、本製品をクライアントとして使うときの設定方法を記載しています。ポータブルゲーム機などでインターネットに接続したいときは、本製品をアクセスポイントとして使用します。「STEP 1 **ソフトウェアをインストールする**」を終えてから、本紙4ページの「ユーザーズマニュアルの見方」を参照して、付属 CD-ROM 内のユーザーズマニュアルの「**ユーティリティを使う**」–「**アクセスポイントとして使う**」を参照してください。

※アクセスポイントの機能は Windows 7 に対応しておりません。

XLink Kai版ドライバをインストールする

XLink Kai をお使いになるときは、XLink Kai 版ドライバをインストールしてください。通常版ドライバでは XLink Kai をお使いいただけません。
※Windows 7 は対応しておりません。

STEP 1 ソフトウェアをインストールする

本製品を使用するには、付属の CD-ROM からソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。以下の手順にしたがってソフトウェアをインストールしてください。

まだ本製品をパソコンへ取り付けないでください。

パソコンのCD/DVDドライブに付属のCD-ROMを挿入します。

■Windows Vistaのとき

① 「自動再生」画面が表示されますので、「AutoLoader.exeの実行」をクリックします。

② 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「許可」をクリックします。

▼

メニュー画面が表示されます。

■Windows XPのとき

▼

メニュー画面が表示されます。

メニュー画面が表示されないときは

①「コンピュータ」(Windows XP は「マイコンピュータ」)を開きます。
②付属の CD-ROM の入った CD/DVD ドライブを右クリックして「開く」を選びます。
③「AutoLoader.exe」をダブルクリックします。

［XLink Kai版ドライバのインストール］をクリックします。

▼

インストールがはじまります。
※この作業には数分かかることがあります。

これよりインストールを開始します。
無線LANアダプタをお手元に用意して
しばらくお待ちください。

▼

「お手元に用意した無線LANアダプタを
パソコンのUSBポートに取り付けてください。」
が表示されます。

本製品をパソコンのUSBポートへ挿し込みます。

▼

「無線LANアダプタの取り付けを確認しました。
手を触れずに、しばらくお待ちください。」
が表示されます。

無線LANアダプタの取り付けを確認しました。
手を触れずに、しばらくお待ちください。

▼

「インストールが完了しました。」
が表示されます。

インストールが完了しました。

［終了］をクリックします。

CD-ROMをCD/DVDドライブから取り出します。

パソコンを再起動します。

これでインストールは終わりです。続けて本紙 2 ページの STEP 2 と STEP 3 を参照して無線 LAN の設定をしてください。なお、XLink Kai版ドライバをインストールしたときは WPS はお使いいただけませんので、STEP 3 の「通常設定」で無線LANセキュリティを設定してください。

※本紙は、本製品をクライアントとして使うときの設定方法を記載しています。ポータブルゲーム機などでインターネットに接続したいときは、本製品をアクセスポイントとして使用します。「STEP 1 ソフトウェアをインストールする」を終えてから、付属 CD-ROM 内のユーザーズ・マニュアルの「ユーティリティを使う」-「アクセスポイントとして使う」を参照してください。

STEP 1 が手順通りに完了できないときは、付属 CD-ROM 内のユーザーズ・マニュアルの「困ったときは」を参照してください。

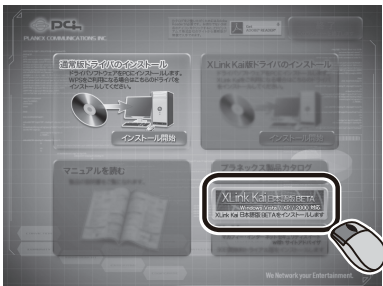
XLink Kai 日本語版ソフトウェアについて

以下の手順でXLink Kaiをインストールします。
※Windows 7環境ではXLink Kaiは動作しません。

パソコンの CD/DVD ドライブに付属の CD-ROM を挿入します。

■Windows Vista をお使いのとき
・「自動再生」画面が表示されたときは、「AutoLoader.exe の実行」をクリックします。
・「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「許可」をクリックします。

メニュー画面が表示されないときは
①「コンピュータ」(Windows XP は「マイコンピュータ」)を開きます。
②付属の CD-ROM の入った CD/DVD ドライブを右クリックして「開く」を選びます。
③「AutoLoader.exe」をダブルクリックします。

［XLink Kai日本語版BETA］をクリックします。

画面の指示にしたがってインストールします。

XLink Kai をインストールする前に、「らくらく！かんたん設定ガイド」にしたがって本製品のソフトウェアをインストールしてください。
XLink Kai については、以下のホームページを参照してください。
http://xlink.planex.co.jp/

ドライバをアンインストールするには

本製品のドライバソフトウェアを削除するには、以下の手順を行います。

「スタート」→「すべてのプログラム（またはプログラム）」→「Planex Wireless」→「Uninstall - GW-US300MiniS」をクリックします。

※Windows 7/Vistaのとき
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［はい］または［続行］をクリックしてください。

画面の指示に従い、アンインストールします。

次の画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

これでアンインストールは完了です。再度ドライバをインストールするときは、本紙を参照いただき、目的にあったドライバをインストールしてください。

ユーザーズマニュアルの見方

本紙より詳細な設定などを参照したいときは、付属 CD-ROM 内のユーザーズ・マニュアルをご覧ください。

パソコンのCD/DVDドライブに付属のCD-ROMを挿入します。

■Windows 7/Vistaのとき
① 「自動再生」画面が表示されますので、「AutoLoader.exeの実行」をクリックします。
② 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［はい］または［許可］をクリックします。

▼

メニュー画面が表示されます。

Windows 7 をお使いのとき
ユーザーズ・マニュアルでは、Windows Vista の手順を参考に設定してください。

■Windows XPのとき

▼

メニュー画面が表示されます。

メニュー画面が表示されないときは
①「コンピュータ」(Windows XP は「マイコンピュータ」)を開きます。
②付属の CD-ROM の入った CD/DVD ドライブを右クリックして「開く」を選びます。
③「AutoLoader.exe」をダブルクリックします。

「マニュアルを読む」をクリックします。

MEMO

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

DA100125-GW-US300MiniS